

東京の都市づくりビジョン（改定）

—魅力とにぎわいを備えた環境先進都市の創造—

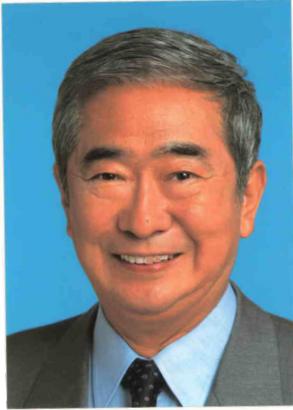


2009（平成21）年7月



東京都

世界の範となる魅力とにぎわいを備えた環境先進都市をめざして



東京は、1,300万都民がいきいきと暮らす生活の場であるとともに、300万人を超える昼間流入人口を抱えており、これを支える様々なインフラが整備され、人材や企業が高度に集積する世界に類を見ない大都市へと成長を遂げています。

正確無比な公共交通網、世界で一番安全かつ清潔な都市空間など、東京は海外の諸都市に対する優位性を備えており、英国の権威ある雑誌が公表した調査^{注1}では、東京は世界の都市の上位に位置付けられ、世界でもっとも住みやすい大都市とされています。

しかし、世界の人口の過半が都市に住む世紀にあって、人類共通の危機が最も先鋭に表れるのも大都市です。東京は、こうした評価に決して満足することなく、今後とも日本の頭脳部、心臓部としてその持てる力を遺憾なく発揮していかなければなりません。

今日、世界経済の先行きが不透明な中で、経済活力の維持・向上を図ることはもとより、これからは深刻化する地球温暖化、緑や水辺の喪失、大地震に対する脅威など、都市を取り巻く様々な危機に対し、都市づくりを通じて、迅速かつ確実に打つべき手を打っていく必要があります。

東京都は、2001年に「東京の新しい都市づくりビジョン」を策定し、遅れていた三環状道路の整備を始め、羽田空港の再拡張・国際化、都心部の機能更新など、東京を活力と魅力に満ちた国際都市として再生するための都市づくりに邁進してまいりました。

今回の改定では、こうした取組に一層弾みをつけるとともに、低炭素型都市への転換、緑豊かで美しいまち並みの形成、建築物の耐震化など、東京を美しく安全で住み心地のよい、さらに成熟を遂げた都市へと導いていくための道筋を示しました。

この都市づくりビジョンに基き、国際競争力の強化のみならず、環境の面においても世界の範となり、環境先進都市として世界から注目される都市の姿を具現化し、東京を21世紀のオリンピック・パラリンピック開催の舞台としてもふさわしい都市に作り変えていきたいと思えます。

2009（平成21）年7月

東京都知事

^{注1} イギリスで発行されている情報誌「MONOCLE（モノクル）」が2009（平成21）年7・8月合併号で公表した「世界で最も生活水準の高い都市」の調査結果。1位はチューリッヒ（スイス）、2位はコペンハーゲン（デンマーク）、東京は2008（平成20）年の調査に引き続き、2年連続の3位

東京の都市づくりビジョン(改定)

—魅力とにぎわいを備えた環境先進都市の創造—

目次

第1章	都市づくりビジョンの改定	
第1	改定の背景・目的	1
第2	「都市づくりビジョン」の性格	2
第3	目標時期	2
第4	東京を取り巻く社会経済情勢	3
第5	これからの都市づくりの課題	10
第2章	東京を更なる成熟に導く都市づくり	
第1	都市づくりの基本理念と目標	13
第2	環境先進都市の創造に向けた基本戦略	15
第3章	めざすべき都市像	
第1	東京がめざす都市構造	23
第2	環状メガロポリス構造の構築	24
第3	コンパクトな市街地への再編	29
第4	地域像	32
1	センター・コア再生ゾーン	33
2	東京湾ウォーターフロント活性化ゾーン	48
3	都市環境再生ゾーン	55
4	核都市広域連携ゾーン	66
5	自然環境保全・活用ゾーン	75

第4章 都市像の実現に向けた施策の展開

第1	都市活力の維持・発展	81
1	都市再生の推進と業務・ビジネス環境等の整備	81
2	機能的な交通ネットワークの実現	89
3	物流の効率化	102
第2	環境と共生する都市の実現	107
1	世界で最も環境負荷の少ない都市構造の構築	107
2	環境と調和した都市づくり	112
第3	水と緑に囲まれた潤いある都市の実現	117
1	水と緑のネットワークの強化	117
第4	都市文化の創造・発信・継承	124
1	美しく風格ある景観の形成	124
2	都市観光の強化による活発な交流の促進	129
第5	安全・安心に暮らせる生活環境の実現	135
1	成熟した都市にふさわしい豊かな住生活の実現	135
2	都市の安全性の確保	141

第5章 「都市づくりビジョン」の実現に向けて

第1	政策誘導型都市づくりを推進する仕組みの構築	153
1	都市開発諸制度等を活用した仕組み	153
2	都独自の制度に基づく仕組み	158
第2	都市づくりビジョンを具体化する分野別計画の策定	161
1	「都市計画区域マスタープラン」の改定	161
2	「多摩の拠点整備基本計画（仮称）」の策定	161
3	「市街地整備基本計画（仮称）」の策定	161
4	「防災都市づくり推進計画」の改定	162
5	「緑確保の総合的な方針（仮称）」の策定	162
第3	区市町村や近隣自治体等との連携の強化	163

資料

1	語句説明	165
2	都市像の実現に向けた施策一覧表	180

本ビジョンで用いた地域を示す用語説明

東京圏：東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県の1都3県の区域

中核拠点：都心、副都心、新拠点及び核都市

都心：東京都の中心業務商業地（大手町、丸の内、有楽町、内幸町、霞ヶ関、永田町、日本橋、八重洲、京橋、銀座及び新橋）

副都心：新宿、渋谷、池袋、大崎、上野・浅草、錦糸町・亀戸及び臨海

新拠点：基幹的な交通基盤の整備と多様な機能集積により、センター・コアの機能を一層高め、都心や副都心とともに、東京の経済活力などを支える拠点。現時点では、品川、秋葉原、羽田がこれに該当する。

核都市：東京圏において広域的な中心性を持ち、連携・交流の要となる拠点。都市の区域全体を指すのではなく、拠点機能を発揮する中核部分を指す。東京都においては八王子、立川、多摩ニュータウン、青梅及び町田がこれに該当する。

生活拠点：交通結節点などにおける商業、福祉、文化、教育などの生活機能などの集積により、幅広いサービスを提供できる広域的な中心性を備えた拠点

生活中心地：身近なコミュニティにおいて、特徴ある商店街やコミュニティインフラ^{注1}の整った、人々の活動や交流の場

コラム

〈コラム1〉	世界に開く窓！羽田空港の再拡張・国際化	12
〈コラム2〉	60分かかっている関越道～東名高速間が12分で結ばれます！	28
〈コラム3〉	環境負荷の少ない高密度でコンパクトな複合開発	31
〈コラム4〉	都市の再開発で区部の緑が増えている	47
〈コラム5〉	夜間や週末も多くの人で賑わう、多様な魅力を備えた都心	80
〈コラム6〉	センター・コアを支える新拠点！秋葉原	152

^{注1} コミュニティインフラ：地域コミュニティの生活を支え、魅力を高める施設や空間。道路、公園、集会施設、商店街、子育て支援施設、高齢者介護施設、教育文化施設などを含む。